

石灰岩地質に自生する天然カラマツ群落

しらいわだけ

白岩岳カラマツ等希少個体群保護林

設定目的

天然カラマツが群落を形成している学術上価値の高い林分であることから、この群落を保護することを目的としています。

地況・林況

当該保護林は、カラマツを主体とし、シラビソ、コメツガ、カンバ等の混交する天然林となっています。

また、石灰岩が露出している特異な地質・地形で形成されている地域となっています。

所在地
長野県伊那市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。